

5-⑥

思春期の心 ~登校しぶり~

おさんは、毎日楽しく学校へ通っていますか。中高生になると学校やそれに関わる悩みや心配事も増えてくるようです。子供も気軽に悩みを打ち明けなくなり、親は気をもむことも多くなります。ここではエピソードにそって思春期の登校をしぶる子供の気持ちを考えてみます。誰にでもこのような気が進まないことや憂鬱な気持ちは、大なり小なりあるものです。このような時に、親はどのように子供を励まし支えていったらよいかを考えてみましょう。

ワーク 1

エピソードを読んで考えてみましょう。

エピソード

高校1年の娘は憧れの高校の吹奏楽部に入りました。順調に高校生活のスタートが切れたと安心していましたが、最近は、よくため息をついています。吹奏楽部の練習は厳しく、ここのところ非常に疲れているように見えます。朝ぐずぐずして、学校へ行きたくないような時もあり、勉強や人間関係が面倒な様子です……。

② あなたがこの子の親ならどんな気持ちですか。また心配なことはどんなことでしょうか。



ワーク
2

考えてみましょう。

- ① この子は今、どんな気持ちなのかを考えてみましょう。この子が登校をややしぶりながらも学校に行くことができているのはなぜでしょうか。



- ② あなたがこの子だったら、友達以外で話を聞いて欲しい人は誰ですか。その理由も考えてみましょう。

☆話を聞いて欲しい相談相手

例えば……親？ 兄弟姉妹？ 祖父母？ 学校の先生？ 先輩？ スクールカウンセラー？
その他（ ）

☆その理由

【身近な相談窓口】 まずは身近なところで相談してみましょう。

- 中学校配置相談員⇒県内の各中学校に配置されている、最も身近な相談員。
生徒の相談にのることはもちろんのこと、保護者の相談にもものっている。「さわやか相談員」「心の教育相談員」等、市町村によって呼び方は変わる。
- スクールカウンセラー⇒臨床心理士の資格を持つ専門性の高いカウンセラー。
1～2週間に一度程度、各中学校を訪問している。
- 家庭児童相談室⇒市町村の福祉事務所に設置され、家庭における子供のしつけや行動、親子関係などの心配や悩みの相談を受けている。

ワーク
3

話し合ってみましょう。

- ① 親として悩みを打ち明けやすいようにするには、普段からどのように接したらいいでしょうか。また、学校との連携はどのようにしていけばよいかについても話し合ってみましょう。

- ② 親としてこの子にどんな言葉をかけたいですか。

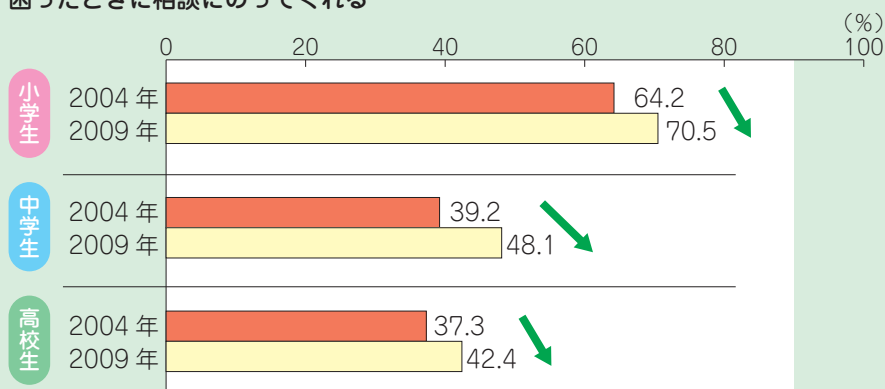
ふりかえり

今日のプログラム全体を通して気づいたことや、これから生かしていけそうなところがありましたか？

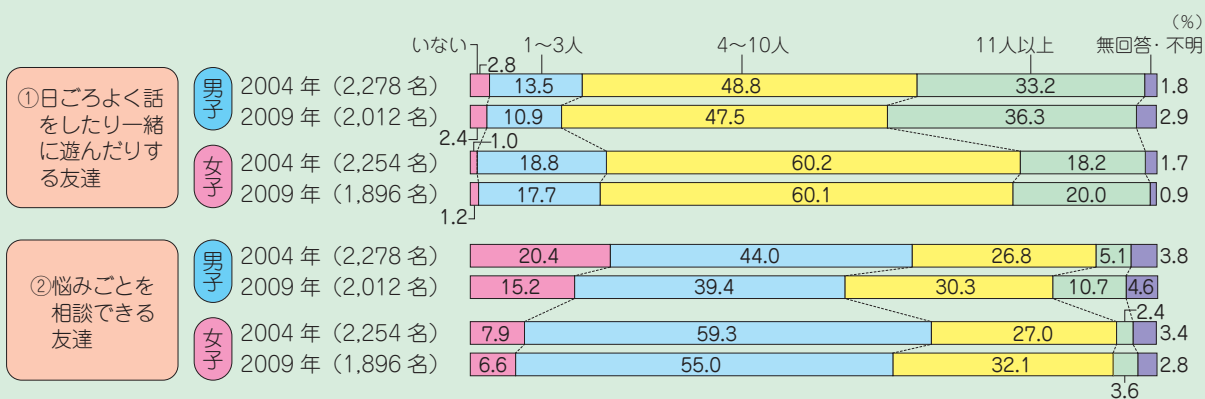
資料

親とのかかわり（経年比較、学校段階別）

困ったときに相談にのってくれる

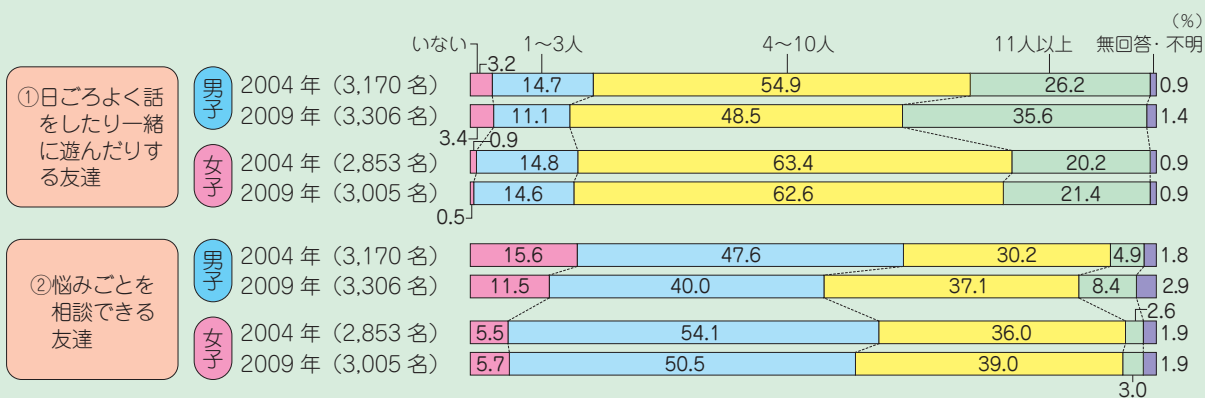


友達の数（中学生、性別、経年比較）



注) 「1~3人」は「1人」+「2~3人」、「4~10人」は「4~6人」+「7~10人」、「11人以上」は「11~20人」+「21人以上」。

友達の数（高校生、性別、経年比較）



注) 「1~3人」は「1人」+「2~3人」、「4~10人」は「4~6人」+「7~10人」、「11人以上」は「11~20人」+「21人以上」。

ベネッセ教育研究開発センター「第2回子供の生活実態基本調査」(平成21年)